

(2016年1月のボンヘッファーのことば)

「神の戒めを知ることは、恵みである。それは、わたしたちが自ら作った計画や葛藤から、わたしたちを解放する。神の戒めは、わたしたちの歩みを確かなものとし、わたしたちの道を喜ばしいものとする」。

新年の聖書の言として、良く引用されるのは、「人間の心は、自分の道を計画する。主が一步一步を備えてくださる」(箴言16章9節)。つまり、どんなにわたしたちが、自分が今後歩む道を定めたとしても、主(神)が導いてくださらなければ、それは、目的地に到達しないだろうし、たとえ到達したとしても、喜びに満たされることはないだろうと理解できます。昨年から、今年にかけて、「暗雲が天を覆っているような政治・社会状況の下」で良く聞かれた言葉は、「あきらめない」であったと思う。わたしたちキリスト者が、願い、努力していることが、実現する、ましてや勝利すると言う保証は、ほとんどないと言って良いだろう。しかしあきらめてはならないと思う。わたしたちの戦いは、聖書の言を使えば、「血肉を相手にするものではなく」、「霊的な戦い」である(エフェソ6章)。だからわたしたちに求められていることは、「絶えず目を覚まして、根気よく祈り続けること」である。以上のことは、年齢に関係なく言えることだと思う。

同時に、加齢のために、以前のように、自由に行動することが出来ない人々たちにとっては、今日一日を感謝の中に迎え、感謝と共に終わること、そのこともまた、大きな恵みと言えるでしょう。

先週の礼拝・集会出席者数

	礼 拝	子ども	水曜会	水夜祈祷会
男 子	13	0	1	4
女 子	28	2	9	1
計	41	2	10	5